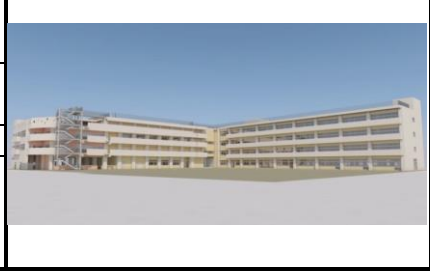


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	藤沢市立鶴南小学校	階数	地上4F
建設地	神奈川県藤沢市鶴沼海岸四丁目7番2	構造	RC造
用途地域	第1種低層住居専用、第2種中高層住居専用	平均居住人員	950人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2019年12月22日
敷地面積	10,905 m ²	作成者	株式会社エーシーエ設計
建築面積	4,306 m ²	確認日	2019年12月23日
延床面積	12,924 m ²	確認者	株式会社エーシーエ設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 81%

③上記+②以外の 80%

④上記+ 80%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> 複合施設という特色のある計画に加え、藤沢市の今後の教育環境の発展に寄与する計画を目指す。 ユニバーサルデザインの採用やバリアフリー対策の実施とともに、景観や町並みにも配慮した施設を目指す。 	
Q1 室内環境 ・建物に対する内外部の熱の流入を抑制するため、躯体や開口部の断熱性能を確保することや、冷暖房機器や照明による設備的な室内環境のコントロールと併せ、庇による日射コントロールを行う。	Q3 室外環境(敷地内) ・敷地内に憩いの場や学級菜園を設置した。
LR1 エネルギー ・太陽光発電による創エネを行うとともに、高効率照明や人感センサーの照明の導入を行った。	LR3 敷地外環境 ・敷地内緑化による温熱環境悪化の防止を行った。
Q2 サービス性能	
LR2 資源・マテリアル ・節水を回り、植栽への散水に雨水を利用することで水資源を保護した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される